第2章、千葉市の概況

2の1、統計データ等

かっこ1、市全体の人口、世帯すう、高齢者数

令和２年３月31日現在、市の人口は973,121人、世帯すうは465,121世帯、高齢者数は252,883人、高齢化率は26%となっています。人口は増加していますが、千葉市人口ビジョンでは、令和２年以降、減少することが予測されています。また、高齢化率は増加傾向にあり、今後も増加すると予測されています。

以下に、千葉市の人口と世帯すうのグラフ、千葉市の高齢者数と高齢化率のグラフ、千葉市の人口と高齢化率の推移予測のグラフがあります。

かっこ2、各区の人口、高齢者数

区別にみると、人口は中央区や緑区で特に増加しています。また、高齢化率は若葉区で特に高く、30％を越える値となっています。

以下に、千葉市の地区別人口のグラフ、千葉市の地区別高齢者数と高齢化率（令和２年３月31日現在）のグラフがあります。

かっこ3、障害者数

市の身体障害者手帳所持者数は約3万人であり、特に内部障害者を中心として増加しています。また、知的障害療育手帳所持者数、精神障害者保健福祉手帳所持者数も、ともに増加しています。

以下に、千葉市の身体障害者手帳所持者数のグラフ、千葉市の知的障害療育手帳所持者数のグラフ、千葉市の精神障害者保健福祉手帳所持者数のグラフがあります。

2の2、バリアフリー化の取組状況

かっこ１、公共交通

かたかっこ1、鉄軌道

まる１、旅客施設のバリアフリー状況

市内には31の鉄道駅、18のモノレール駅があり、JR駅を中心に、主要なバリアフリー項目を概ね達成しています。

以下に、鉄軌道駅の乗降客数、バリアフリー状況のひょうがあります。

まる２、ソフト対策の状況

各事業者において、乗務員の教育や筆談具の設置等が進められています。

かたかっこ2、路線バス

市内では、じゅう事業者のバスが運行しています。

まる１、車両のバリアフリー状況

概ねの事業者において、スロープ板の設備や、ノンステップバスの導入が進んでいます。ノンステップバスの導入率は令和がんねんど末時点で約72.9％です。

また、一部の事業者ではスタンションポール（縦手すり）の増加や、モニターの複数言語ひょうき等も実施されています。

まる２、停留所のバリアフリー状況

複数の事業者において、利用者の多い主要なバス停に上屋を設置しています。

まる３、ソフト対策の状況

車椅子利用者の乗降方法、固定方法や、接客・接遇マナーの教育及び研修が実施されています。また、筆談具の設置等も進んでいます。

かたかっこ3、タクシー

一部の事業者でUDタクシーが導入されていますが、千葉交通圏における平成さんじゅう年度末時点の導入車両すうは63台となっています。

なお、UDタクシーとは、足腰の弱い高齢者、車椅子使用者、ベビーカー利用の親子連れ、妊娠中のかたなど、誰もが利用しやすいタクシー車両のことをさします。

かっこ2、道路

市では、「千葉市バリアフリー基本構想」の策定（平成にじゅうねん8月）及び変更（平成24年7月）を受け、基本構想で定められた18の重点整備地区を中心に「千葉市バリアフリー基本構想に基づく道路特定事業計画」を策定し、道路のバリアフリー整備を進めています。令和がんねんど末時点の整備率は合計で86.5％となっています。

以下に、地区別道路整備率（令和がんねんど末）のグラフがあります。

かっこ3、信号機等

重点整備地区の生活関連経路上の信号機は236箇所あり、全てがバリアフリー対応信号機(整備率ひゃく％)となっています。なお、バリアフリー対応信号機とは、弱者感応信号機（押ボタンや高齢者等が所有する発信機の操作により歩行者信号の青時間が延長されるもの）や歩行者感応信号機（横断歩行者を感知した場合は横断青時間を延長し、感知しない場合は短縮するもの）、若しくわ音響式信号機（音響により信号表示の状況を知らせるもの）をさします。

また、236箇所の信号機のうち、18箇所でエスコートゾーンが設置されています。

なお、エスコートゾーンとは、視覚障害者横断たい。横断歩道の中央部に視覚障害者が認知できる突起を設け、横断歩道内をまっすぐ進めるようにするものをさします。

かっこ4、都市公園

市内には令和がんねんど末現在で、1,133箇所に都市公園が立地しており、駐車場は国の定める目標ちを達成していますが、園路及び広場、トイレについては低い達成率となっています。

以下に、都市公園のバリアフリー状況のひょうがあります。

かっこ5、建築物

かたかっこ1、民間施設

従前の基本構想における重点整備地区の中心駅から、概ね半径1キロメートル圏内の大規模店舗、総合病院、宿泊施設を対象にアンケート調査した結果によると、エレベーターの設置、でいりぐちや廊下の段差解消、多機能トイレや障害者等用駐車ます等の整備が進んでいます。また、車椅子の貸し出しや、案内じょにおける筆談対応等のソフト対策が進んでいます。

さらに、総合病院では授乳室の設置やインターホンの整備、ホテル、旅館では、エレベーターボタンにおける点字の設置、バリアフリールームの整備等が進んでいる施設もあります。

かたかっこ２、主要な公共施設

市内の主要な公共施設では、エレベーターの設置や多機能トイレ、身体障害者用駐車ますの設置など、それぞれバリアフリー化が進められています。

以下に、主要な公共施設のバリアフリー状況のひょうがあります。